

2月16日～28日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
06/02/16 (木)	東京はレンジ内で揉み合い。中値不足思惑などから一時ドル高に振れたが続き。結局レンジ抜け切れず。欧米は良好な米経済指標もありドル買い先行、しかしSL連銀総裁によるネガティブ発言などもあり終盤軟落。	・1月の米住宅着工件数227.6万件、同建設許可221.7万件、2月のFF連銀景況指数15.4	・西村日銀審議委員「量的緩和解除、重要な時期に差し掛かっていること間違いない」 ・SL連銀総裁「インフレの低下などが実質的にデータで示されれば利上げは打ちどめる」	117.97 117.53 118.27 117.58	140.20 139.85 140.28 139.98	24H 寄付 安値 高値 終値
06/02/17 (金)	東京は発表されたGDPがかなりの好数字となったものの材料出尽くし感から逆に円売り優勢。欧米はユーロ全面高の様相。米3連休を前にした調整の動きに加え、ギリシャ中銀総裁発言が好感された。	・第4四半期GDP前期比1.4% ・1月の米PPI0.3%、2月のシカゴ大消費者信頼感指数87.4	・英BBC「ナイジェリアの武装勢力が外国石油施設を近く攻撃宣言する」 ・小泉首相「量的緩和解除は日銀総裁に任せる」 ・ギリシャ中銀総裁「市場は利上げを織り込み済み、その見方は妥当」	117.52 117.45 118.87 118.05	139.91 139.86 141.33 140.95	24H 寄付 安値 高値 終値
06/02/20 (月)	東京は狭いレンジ内で一進一退。NY休場もあってか市場参加者少なく、商い手控えムード。欧米も総じて小動き。ただ調整的な動きからユーロが対ドルでやや冴えない。	・前週末BBCの報道どおり(?)ナイジェリアの反政府組織が石油施設攻撃 ・独連銀月報「独成長率、第1四半期に成長軌道に戻る見通し」 ・米国市場が休場	・細川財務次官「脱却に向け進展は見られるが依然緩やかなデフレ状況」 ・フィンランド中銀総裁「欧州の経済成長は力強い」 ・ECB総裁「金利は歴史的な低水準にある」	118.10 117.93 118.30 118.25	141.08 140.99 141.51 141.16	24H 寄付 安値 高値 終値
06/02/21 (火)	東京はドル強含み。前日の米国休場もあり仲値不足も顕著でドル/円は需給的に底堅い。欧米は発表された米経済指標が良好な内容となったこともありドル続伸。しかし終盤は利食い売りも。	・米FOMC議事録(1/31分)「金利はこれからのデータ次第」 ・1月の米景気先行指数1.1%	・武藤日銀副総裁「CPIは1月以降ハッキリしたプラス」 ・ルクセンブルグ中銀総裁「ECBは必要となれば行動する用意がある」	118.37 118.36 119.00 118.71	141.25 141.21 141.67 141.41	24H 寄付 安値 高値 終値
06/02/22 (水)	東京でドルは続伸。しかし118円後半からのオファーは厚く、その後はやや上げ渋った。欧米はBOE議事録を受けてボンドが荒れ模様。ドルはCPIのコア指数が予想よりも低かったことで冴えない。	・BOE議事録(2/8～9分)「政策金利の据え置きは8対1で決定」 ・2月の月例経済報告で景気判断を6ヶ月ぶりに上方修正 ・1月の米CPIは0.5%、同実質所得0.2%	・福井日銀総裁「政府と日銀の景気認識は一致している」 ・FRB「ファーマン」副議長は4月28日付けで辞任する」	118.80 118.30 118.90 118.53	141.59 140.67 141.63 141.23	24H 寄付 安値 高値 終値
06/02/23 (木)	東京は円独歩高。朝方は貿易赤字転落もあり円売りでスタートするも日銀総裁発言を受けて様相が一変。欧米は引き続き円買い優勢。一時否定発言の噂なども聞かれたが、読売報道などもあり再び円高へ。	・1月の貿易収支 3489億円、01年1月以来の赤字 ・スウェーデン中銀が25BPの利上げ ・2月の独IFO景況指数103.3 ・読売新聞24日早刷「日銀が量的緩和の3月解除も視野」	・日銀総裁「CPIが安定的にゼロ以上の判断に至れば直ちに解除」 ・アルムニア欧州委員「欧州の経済は昨夏から回復している」 ・ダラス連銀総裁「コアCPIは全体指数より望ましい」	118.38 116.76 118.50 117.15	141.06 139.28 141.10 139.62	24H 寄付 安値 高値 終値
06/02/24 (金)	東京は円が全面高。日銀総裁の強気発言などもあり、円キャリートレードの巻き戻し意欲など強い。欧米はドル買い先行でスタート。しかし地政学リスクを嫌気した動きに米経済指標に大幅悪化から戻り限定的。	・第4四半期英GDP改定値前期比0.6% ・サウジアラビアでテロ発生 ・1月の米耐久財受注 10.2% ・トリノ五輪フィギュアスケートで荒川静香選手が金メダルを獲得	・谷垣財務相「日銀は数字だけでなく全体を見て判断してもらいたい」 ・日銀総裁「量的緩和解除の条件は少しずつ成熟しつつある」 ・SL連銀総裁「今年度のGDPは3.5%へ上昇する可能性がある」	117.08 116.42 117.11 116.90	139.56 138.65 139.57 138.84	24H 寄付 安値 高値 終値
06/02/27 (月)	東京はほぼ一本調子の円高進行。政府要人が金融緩和を容認したとの思惑が円買いを後押ししていた。欧米はレンジ内での揉み合い。円買いムード続くも米長期金利が上昇しドルも積極的に売り難い。	・1月の米新規住宅販売件数123.3万件	・安倍官房長官「緩やかなデフレ継続との認識に変わりなし」 ・小泉首相「政府日銀の方針に沿って日銀が判断すること」 ・中川政調会長「政策目標共有すれば時期は日銀の判断で結構」	117.08 115.68 117.08 116.10	138.59 137.25 138.62 137.53	24H 寄付 安値 高値 終値
06/02/28 (火)	東京は月末特有の外貨建て投信設定などもあり円が冴えない。ただ116円半ばからはドル上値も重い。欧米で米GDPは大幅上方修正されたもの予想通り。むしろそれ以外の指標悪化を嫌気しドル売り優勢。	・1月の鉱工業生産速報0.3% ・2月の独失業者数 5000人、同失業率11.3% ・第4四半期米GDP改定値1.6%、2月の消費者信頼感指数101.7、同シカゴPMI指数54.9	・谷垣財務相「景気は改善しているが緩やかなデフレは続いている」 ・スノー財務長官「人民元は先物市場で改革が見られる。現物市場での改革が必要だ」	116.20 115.71 116.49 115.78	137.67 137.57 138.40 138.02	24H 寄付 安値 高値 終値

* 製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>